

# 東海医歯薬マニユアル

全体編  
主管係一同

2018

## 目次

- 錬成館について(p.2)
- 日程・役職(p.6)
- 競射(p.8)
- クレーム処理(p.19)
- 諸注意(p.20)

全体編

§ 日時 平成 30 年 11 月 24 日(土)、25 日(日)

§ 会場 愛知県津島市錬成館 〒496-0025 愛知県津島市中一色町中山 26

道場：近的弓道場 12 人立  
 選手控室：剣道場 (1 階)  
 主管校控室：剣道場、礼の間 (1 階)  
 宿泊場所：第 1 修養場 (男子)  
                   第 2 修養場 (女子)  
 弓保管場所：礼の間

○食事について

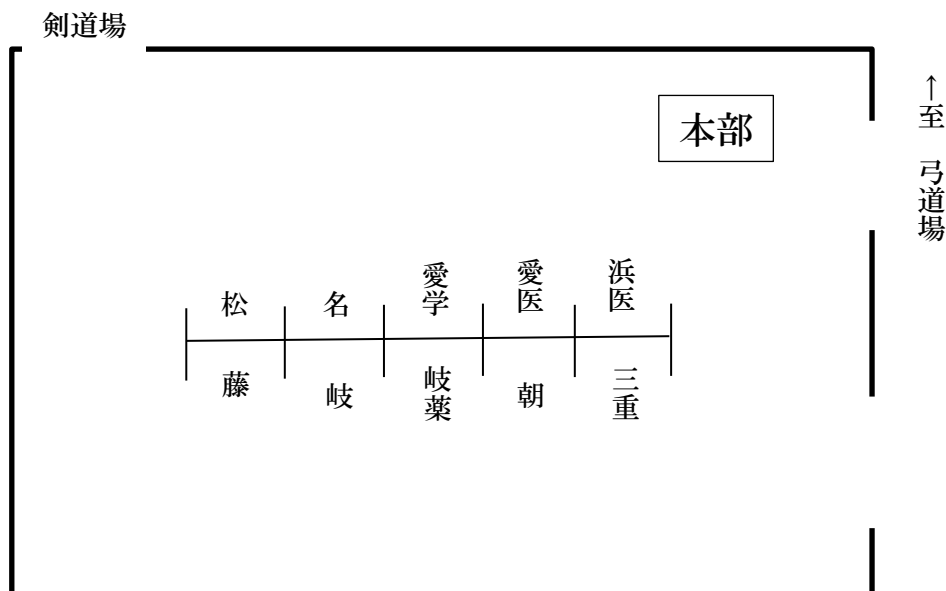
24 日昼、25 日朝、昼の分は用意してあります。それ以外は各自でご飯を用意してください。

○入浴について

錬成館のお風呂は故障中のため入ることができません。近くに銭湯があるのでそちらを利用するようにお願いします。

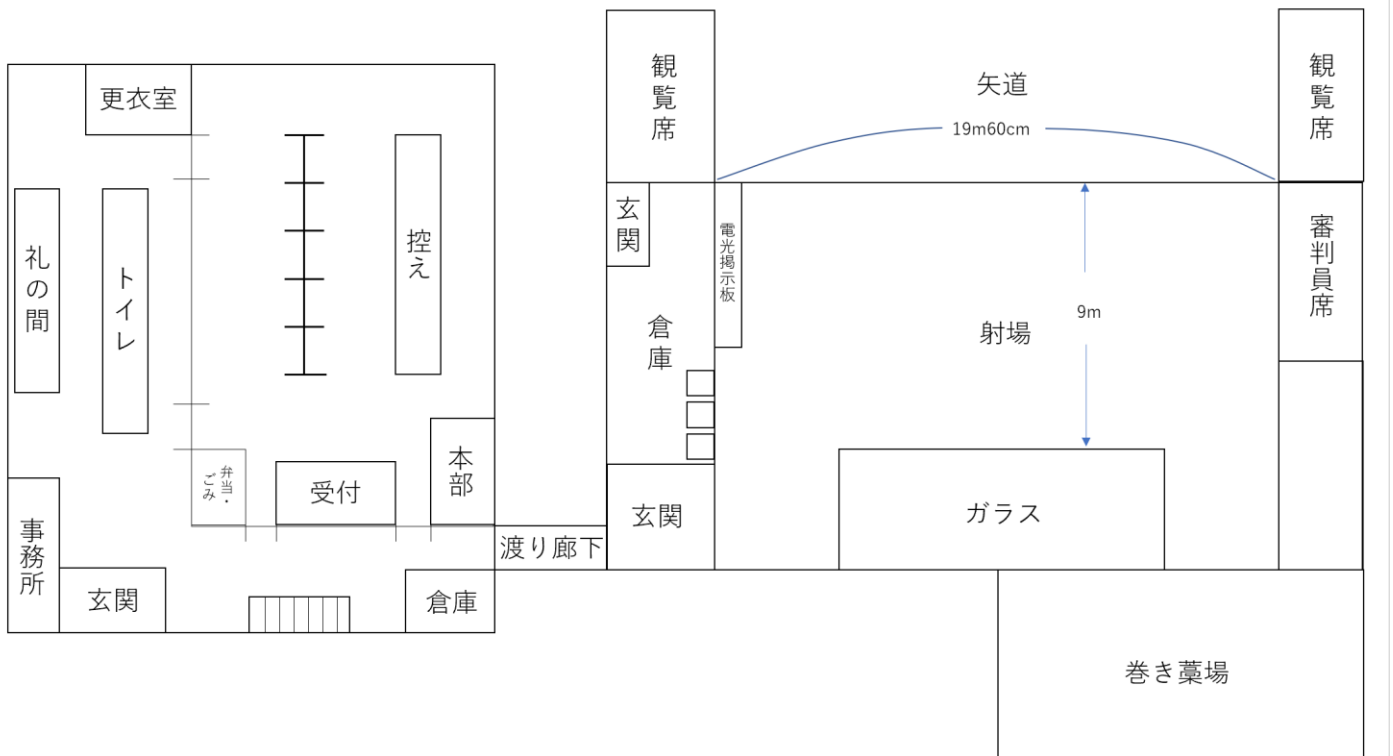


§ 選手控室の配置図



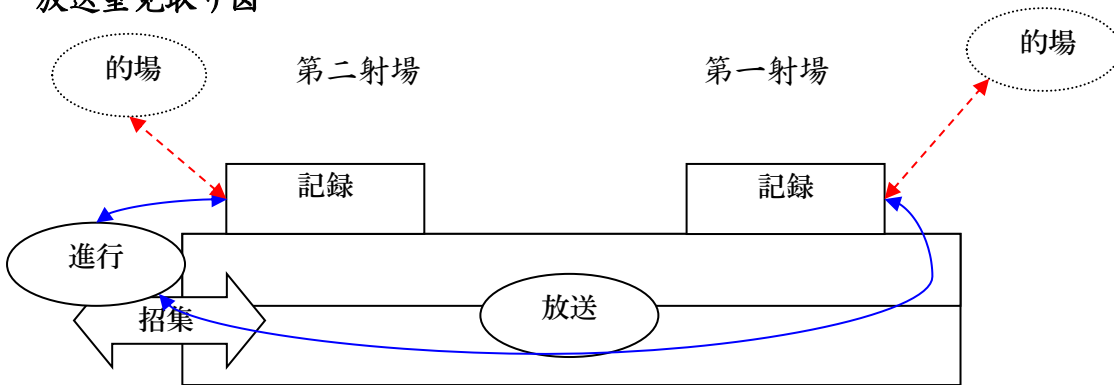
全体編

全体図



競技中の連携図

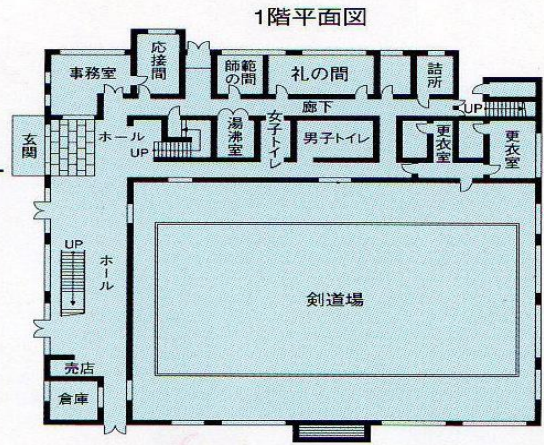
放送室見取り図



全体編

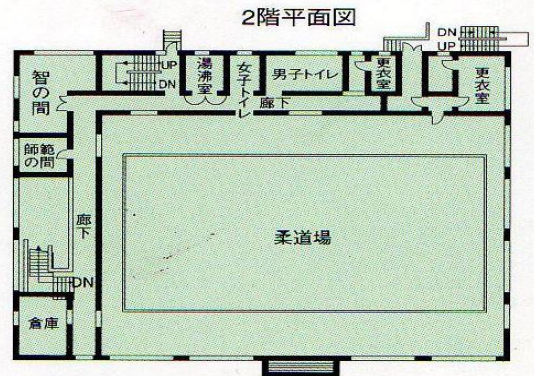
# 1階 剣道場 (435㎡)

事務室、応接室、師範の間、  
礼の間(会議室)、更衣室(男・女)



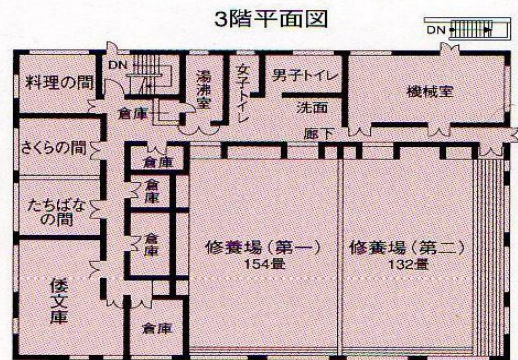
# 2階 柔道場 (256畳)

師範の間、智の間(会議室)、更衣室(男・女)



# 3階 修養場

■第一修養場(154畳)・第二修養場(132畳、広縁)  
倭文庫(小和室、板の間)、さくらの間・たちばなの間(会議室)  
料理の間



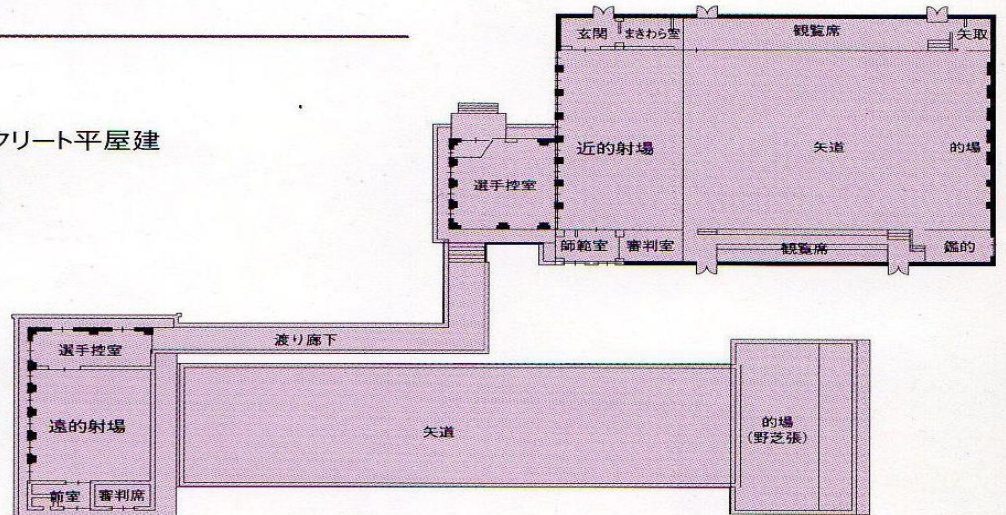
# 弓道場

## ■近的弓道場

竣工 ……昭和58年4月  
構造 ……鉄骨・鉄筋コンクリート平屋建  
建築面積 ……571.36㎡  
道場 ……300㎡(12人立)  
観覧席 ……250人収容

## ■遠的弓道場

竣工 ……平成3年12月  
構造 ……鉄骨平屋建  
建築面積 ……220.0㎡  
道場 ……143㎡(6人立)



## 全体編

## § 最寄り施設

## ○銭湯

## 旭湯津島

営業時間

10:00~23:30

入浴料

600円(平日)

650円(土・日・祝日)

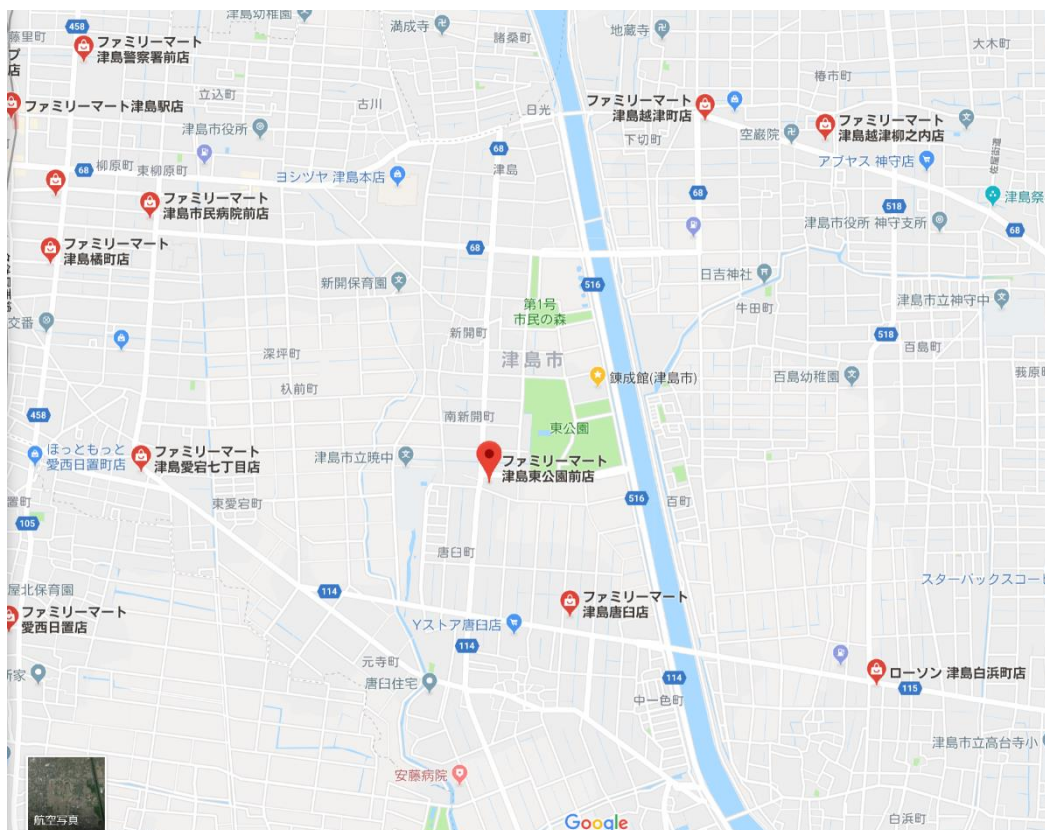
回数券有

22:00以降割引



## ○コンビニ

## 最寄り：ファミリーマート津島東公園前店



## 全体編

## § 主管の流れ

- 前日 15:00 道場集合  
15:30～ 浜松を出発  
～17:30 錬成館に到着  
17:30～ 自由（係ごとの確認、お風呂等）  
21:30～ 係ごとに仕事の確認  
24:00～ 消灯
- 1 日目 6:00～ 起床、朝食  
7:00～ 全体ミーティング、開場準備  
8:00～ 準備開始  
8:30 開場  
9:00～ 9:15 付け矢開始 浜松医科大学・愛知医科大学  
9:20～ 9:35 名古屋大学・愛知学院大学歯、薬学部  
9:40～ 9:55 藤田医科大学・朝日大学  
10:00～10:15 三重大学・岐阜大学  
10:20～10:35 岐阜薬科大学・松本歯科大学  
10:40～11:10 第2回主将会議  
11:20～12:00 開会式・矢渡し・的替  
12:20～16:20 男子団体1立目～女子団体2立目
- 2 日目 6:00～ 起床、朝食  
8:00～ 開場準備  
8:30～ 開場  
8:45～ 的付け  
9:05～ 団体戦3立目開始  
10:35～ 団体同中競射  
11:20～ 個人戦予選開始  
14:50～ 個人戦決勝開始  
16:20～ 納射、閉会式  
17:00～ 第3回主将会議、片づけ  
\*片づけが終わり次第浜松に帰る

時間はあくまで目安です。各自射場の運行状況をよく確認して動くようにしてください。

## 全体編

## § 競射の日程

24日	25日
付け矢	男女団体戦3立目
男女団体戦1立目	同中競射(男女1~3位まで決定)
男女団体戦2立目	男女個人戦1立目
	男女個人戦2立目
	男女個人戦決勝射詰
	遠近(男女各1~6位まで決定)
	遠近(男女各1~6位まで決定)

## § 部署の配属表

◎は部署長です。

受付	◎長谷川	神戸					
掲示	◎江澤	鷺見	栗田	杉浦(勇)			
招集	◎渡邊	伊藤	大畑	小川	家田	藤原	本堂
記録	◎田淵	生熊	川口	杉本	窪川	杉山	鈴木(ま)
	滝澤	梁	栗田				
進行	◎日高	川島	兵藤	川崎	鈴木(蓮)	山本	伊賀
	塩田	中村	久松	服部	山口(真)		
的場	◎未谷	岩瀬	杉浦(琢)	西	森下	井澤	市川
	河合	山口(藍)	梶原	小永井	土屋	渥美	荒川
	大澤	小俣	鎌田	佐橋	柘植	菱田	平田
	杜	安江					

## 全体編

## §1 立の流れ

選手が射場内の椅子に座る。

【進行】「只今より、\_\_子\_\_戦\_\_立目を行います。」←最初の立のみ

【進行】「起立。射位にお入りください。」

〈看的の赤旗がしまわれていること、団体なら大前の、個人戦なら全員の胴造りが終わっていることを確認〉←2立目以降ここからループ

【進行】「行射を開始してください。」

【進行・記録】ストップウォッチを押す(※団体戦のみ)

【進行】選手紹介を行う。(団体戦では大学とゼッケン番号と名前、個人戦では大学名とゼッケン番号を読み上げる)

【進行】「一分前です。」(※団体戦のみ)

【進行】「三十秒前です。同時打ちおこしを開始してください。」(※団体戦のみ)

【進行】「(終了してください。)」(※団体戦のみ)

## 行射終了

【記録】担当の射場が引き終えたら白旗をあげる。

【進行】全射場の白旗が出ていることを確認する。

【進行】「赤旗お願いします。」

【記録】白旗をさげる。

【的場】赤旗を出し手拍子を行う。

【進行】「お願いします。起立。射位にお入りください。」

【的場】的場に出て的中確認を行う。

【記録】再確認がなければ白旗を、再確認があれば赤旗をあげる。

【進行】再確認があれば、【記録】と連絡をとり、トランシーバーを使って【的場】へ連絡をする。

【的場】再確認を承ったら、その的まで行きトランシーバーは使わずに地声で射場へ確認を報告する。

【記録】全て白旗の状態になり、確認が終了となる。

【進行】「ありがとうございました。矢取りをお願いします。」

【的場】矢取りを開始し、箱の回収担当も出てきて箱を回収する。全員の場から撤退したら前後射場の赤旗を戻す。看的表示も元に戻す。

【進行】記録用紙を回収し本部に持っていく。



## 全体編

各場面の説明やそこでの各部署の必要人数やおおまかな動きを記しました。内容としては浅く薄いものとなっているため、詳しくは各部署のマニュアルをご参照ください。また記録表の動きなど連携を取らなければいけない場面は特に注意しましょう。射場や控室でのアナウンスは中部マニュアル進行編・招集編・受付編をご参照ください。

## §的付け

競射用の的を付けます。他大学から見られることがあるのでテキパキ動きましょう。特に矢道の両脇に待機するときにだらしなくしていると目立ちます。姿勢を正し、素早く終わらせるようにしましょう。

## ○的付け・的替えのタイミング

1日目：付け矢前(12的)

矢渡し前(1的)

団体戦1立目前(12的)

2日目：団体戦3立目前(12的)(1日目の団体の的を使用)

個人戦予選前(12的)

個人戦決勝射詰1段目前(12的)

個人戦決勝射詰9段目前(小的×残りの人数)

遠近前(印付き霞的×遠近発生数)

納射(2的)

付け矢前・矢渡しの的付けは浜医のみで行います。他の12的付ける的付けは全大学の代表者を呼びます。個人戦順位決定に関わる的付けは当該大学の代表者を呼びます。

## ○仕事内容

【的場】 的場にて的付けを行います。進行係や各大学の主将の判断によりの的を付けます。

【記録】 特になし。的付け後の競技に備えてください。

【進行】 的付けの指示を出します。

【招集】 特になし。的付け後の競技の招集を行ってください。

【掲示】 特になし。各係に渡す資料作りを進めてください。

【受付】 クレーム対処や質問に応答します。

## 全体編

### § 附け矢

附け矢時間は15分です。7分後に一度矢取りの放送が流れます。ここで錬成館における矢取りや看的の練習をします。

浜医の附け矢は9:00からです。仕事の関係上、まず団体以外の数人が先に引きます。仕事ができる人数が引き終わったら団体メンバーが射位に入るようにしてください。

### ○附け矢の順番

9:00～ 9:15 浜松医科大学・愛知医科大学  
9:20～ 9:35 名古屋大学・愛知学院大学歯、薬学部  
9:40～ 9:55 藤田医科大学・朝日大学  
10:00～10:15 三重大学・岐阜大学  
10:20～10:35 岐阜薬科大学・松本歯科大学

### ○仕事内容

【的場】 矢取りや看的を行います。

【記録】 担当射場の状況を見て矢取り時の白旗を挙げます。

【進行】 附け矢の時間管理やアナウンスを行います。

【招集】 附け矢の招集をします。

【掲示】 特になし。資料作りを進めてください。

【受付】 クレーム対処や質問に応答します。資料の配布をします。

## 全体編

## §開会式

1日目の11:20から射場にて開会式を行います。第2回主将会議次第で開始時間が遅くなることがあります。特に仕事のない方は射場に集まり整列して開会式に出席するようにしてください。開会式のアナウンスは中部マニュアル進行編をご確認ください。

## ○開会式のプログラム

- 1.開会宣言
- 2.国旗拝礼 (先導 浜松医科大学主将 久松優作)
- 3.優勝杯返還・レプリカ授与 (前年度優勝校 男子 三重大学 女子 名古屋大学A)
- 4.大会審判員紹介 (審判長 教士七段 岩田幸則先生 審判員 錬士五段 佐藤清昭先生)
- 5.大会会長挨拶 (浜松医科大学弓道部部长 三澤清先生)
- 6.主管校代表者挨拶 (浜松医科大学弓道部主将 久松優作)
- 7.競技説明

## ○仕事内容

【的場】特になし。基本的に開会式に参加します。必要に応じて的場に待機します。

【記録】特になし。開会式に参加します。

【進行】開会式の司会進行を担当します。

【招集】特になし。

【掲示】特になし。資料作りが終わっていれば開会式に参加します。

【受付】開会式前のアナウンスを控室でします。

## 全体編

## §矢渡し

開会式の後すぐに矢渡しを行います。

射手 鈴木蓮  
第一介添え 久松優作  
第二介添え 山口藍

## ○仕事内容

【的場】特になし。矢渡しが終わってすぐ的付けできるよう待機します。

【記録】矢渡し後に椅子の準備をします。

【進行】矢渡しのアナウンスや矢渡し後の競技開始時間のアナウンスをします

【招集】矢渡し後にすぐ団体戦を始められるよう招集を行います。

【掲示】特になし。エクセルなどの確認をします。

【受付】クレームや質問に適宜対処します。

## ○矢渡し後の的付け

矢渡し後すぐに的付けを行います。各大学代表者を集め、【的場】は団体メンバー以外総動員で12的つけます。

【進行】は射場にて代表者を集めるアナウンスをした後に代表者とともに的や立札の確認をします。【記録】は第一控えの椅子の準備をします。【受付】は的付けのアナウンスを控室にて行います。

## 全体編

### § 男子団体戦

制限時間9分、6人団体にて行います。各射手4本×3立の計12本、団体合計は72本です。団体戦1,2立目は個人戦を兼ねます。表彰は3位までです。1立ごとに射場入れ替えを行います。

仕事は団体メンバー以外で回すようにします。

#### ○仕事内容

【的場】 看的、矢取り、矢返しを行います。

【記録】 的中の記録、計測を行います。

【進行】 競技の進行を行います。

【招集】 団体選手の招集、諸注意を行います。

【掲示】 結果の入力、掲示を行います。

【受付】 クレーム処理や質問対処を行います。

### § 女子団体戦

制限時間5分半、3人団体にて行います。各射手4本×3立の計12本、団体合計は36本です。団体戦1,2立目は個人戦を兼ねます。表彰3位までです。1立ごとに射場入れ替えを行います。

仕事は団体メンバー以外で回すようにします。

#### ○仕事内容

【的場】 看的、矢取り、矢返しを行います。

【記録】 的中の記録、計測を行います。

【進行】 競技の進行を行います。

【招集】 団体選手の招集、諸注意を行います。

【掲示】 結果の入力、掲示を行います。

【受付】 クレーム処理や質問対処を行います。

### § 団体戦共通事項

#### ○記録表の流れ

【記録】 が記入→【進行】 が回収→【掲示】 にまわす

#### ○団体メンバー変更届の流れ

【受付】 →【掲示】

## 全体編

### § 団体戦同中競射

団体戦は3位まで表彰します。優勝～3位の間で同中が発生した場合のみ同中競射を行います。

#### ○競射の方法

立順：最終立の立順にて行われる

本数：1人1本×6(3)人

#### \* 団体数が1立で収まる場合

選手は矢を1本、介添えが矢を3本持ち入場します。引き終わった選手は本座の椅子に戻ってもらい、再度同中が発生した場合には、介添えから矢を1本もらって退場せずに競射を行います。

#### \* 団体数が1立で収まらない場合

選手は矢を1本持って入場します。次の団体が第一控えに入場し、前の団体が引き終わったらそのまま退場してもらいます。

#### ○同中競射の連携

同中競射が発生した場合、【掲示】は速やかに【招集】【進行】に伝えます。このとき、何位決定の同中なのか、何校でどの大学なのかを確実に伝えます。同中が発生しなくても発生しなかったという事実を連絡するようにしましょう。

## 全体編

### § 個人戦予選

男子は8射5中、女子は8射4中で決勝進出となります。3人山立にて行い決定退場です。団体選手の射直しは認めません。立順は男子→女子→男子→女子の順番です。浜医は、主管の都合上、各立に数人ずつ振り分けますので、自分の立ちを把握しておいてください。立の組み方は1日目の競技終了後に決めます。

### ○仕事内容

【的場】看的、矢取り、矢返しを行います。

【記録】的中の記録を行います。

【進行】競技の進行を行います。

【招集】選手の招集、諸注意を行います。

【掲示】結果の入力、掲示や立の組換えを行います。

【受付】クレーム処理や質問対処を行います。

### ○記録表の流れ

【記録】→【進行】が回収→【招集】がチェック【掲示】に渡す→【掲示】が入力し【招集】がダブルチェックを行う→【記録】【進行】に新しい記録表(第一・第二射場各1部)が回る

## 全体編

### § 個人決勝戦(一手～一本競射)

男女ともに射詰にて順位を決定します。優勝以外の順位決定は遠近を用います。決勝射詰9段目からは小的を用います。

#### ○決勝戦の流れ

- 男子一手競射 (12人以下になるまで)
- 女子一手競射 (12人以下になるまで)
- 男子一本競射 (優勝者が決定するまで)
- 女子一本競射 (優勝者が決定するまで)
- 男女同時に遠近

#### ○仕事内容

【的場】 看的、矢取り、矢返しを行います。

【記録】 的中の記録を行います。

【進行】 競技の進行を行います。

【招集】 選手の招集を行います。次にどの場面の招集を行うのかしっかり確認をしましょう。

【掲示】 結果の入力、掲示を行います。決勝では記録表を新たに作る必要はありません。

【受付】 クレーム処理と質問対処を行います。弁当のゴミのアナウンスなど時間制限のあるものは注意しましょう。



## 全体編

### § 個人戦決勝(遠近法)

優勝決定以外の競射は遠近法を用います。ただし、遠近該当者が10人以上になった場合は選手を減らすために一本競射を行います。的は第2回主将会議にて各大学の代表者によって中心の印がつけられた霞的を使用します。

【進行】・【招集】が的附けのアナウンスを行い、当該大学の代表者は的を見ます。非当該大学の代表者は的場に行ってもらい遠近の順位決定の判断をしてもらいます。

行う遠近の順番は【進行】の判断に任せます。

### ○遠近の流れ

- ① 遠近該当者を全員第一控えに入場させる。
  - ② 【進行】の「起立。射位にお入りください。」で前3人が射位に入り、矢をつがえる。
  - ③ 残りの選手は一つ前の椅子に移動する。
  - ④ 1人目の選手が引き終わったら、その選手は最後尾の椅子に移動する。
  - ⑤ 2,3人目の選手は前に詰めて、4人目の選手が射位に入る。
- 以下③～⑤の繰り返しになります。

### ○発生人数

一つの遠近で10人以上いる場合は一本競射を行います。特に介添えは設けずに1本引いて退場していただきます。遠近該当者が9人以下になるまで1本競射は続けます。

### ○仕事内容

【的場】遠近の的附けや看的・矢取りを行います。遠近の作法に注意しましょう。

【記録】的中や順位の記録を行います。

【進行】競技の進行や射場内の作法を担当します。

【招集】選手の招集を行います

【掲示】結果の入力、掲示を行います。

【受付】クレーム処理と質問対処を行います。

## 全体編

### § 納射

男女個人戦の優勝者による納射を行います。矢は2本、審判員の指導の後に行います。主管校は片づけを行い、特にやることのない人は納射を観覧席にて見ましょう。

#### ○仕事内容

【的場】特になし。納射の的付けを行い、目立たないように片づけを行う。

【記録】特になし。目立たないように片づけを行う。

【進行】納射や閉会式前のアナウンスを行う。

【招集】特になし。片づけを行う。

【掲示】特になし。結果を掲示後、片づけを行う。

【受付】クレーム処理と質問対処を行います。納射前後のアナウンスや片づけの準備を促すアナウンスを行います。

### § 閉会式

納射終了後すぐに射場にて閉会式を行います。特に仕事のない人は出席するようにしてください。

#### ○閉会式のプログラム

- 1.結果発表・表彰
- 2.大会審判長講評（教士七段 岩田幸則先生）
- 3.大会会長挨拶（浜松医科大学弓道部部长 三澤清先生）
- 4.主管校代表者挨拶（浜松医科大学弓道部主将 久松優作）
- 5.次期主管校代表者挨拶（名古屋大学）
- 6.国旗拝礼（先導 浜松医科大学主将 久松優作）
- 7.閉会宣言

#### ○仕事内容

【的場】特になし。

【記録】特になし。

【進行】閉会式の司会進行を行う

【招集】特になし。

【掲示】特になし。

【受付】クレーム処理と質問対処を行います。片づけの準備を促します。

## 全体編

## § クレーム処理

- ・射場内でのクレームは、【記録】と【進行】が対処する。
- ・各部署でのミスに関しては、その係の責任者が対応する。  
例：矢を踏んで曲げてしまった。招集の呼びかけが甘い。
- ・クレームは処理できても出来なくとも、最終的には必ず多々納に報告する。
- ・それ以外のクレーム・質問は本部にいる【受付】【招集】【掲示】が対処する  
クレームを受けとったら、必ずメモをとる。その際緊急かどうかも明記する。

## ○本部が対応できる範囲

どうしようもないことはご容赦いただき、対応できる範囲は処理する。  
また、緊急でない場合は後でもう一度来てもらう。（時間稼ぎをする。）

## ○【進行】の指示を仰がなければならない場合

メモを入場口にいる【招集】に、【進行】まで運んでもらう。

【進行】は、メモをよみ、射位から本座への入場などの際に本部のところへ行って、対処を考える。

- ・すぐに一言二言で返事できる場合、【進行】はその場で【招集】に返事を伝える。
- ・それができない場合、返事は後でメモに書いて伝えることになる。  
そのメモは次に【招集】が本部へ来た時に、控えに持って行ってもらう。
- ・緊急の場合や責任者が出向かなければならない場合は、【進行】の仕事を、主管係で手の空いている人か【記録】が代わり、【進行】がクレーム対応に徹する。

要は…

自分で判断できない場合は主管係(長)を呼んでください！

基本的に主管係は各部署に、係長は本部にいます。

## 全体編

## § 諸注意

## &lt;トランシーバー使用上の注意 【的場】【記録】【進行】&gt;

1. 話すときはボタンを押してから1~2秒経ってから話すこと。（最初のその時間は伝わりにくいため。）
2. 1つひとつの言葉を区切ってはっきり言う。
3. 射場を言う場合は、第1、2射場となり、女子団体や個人戦では第1・第2・第3・第4射場となることに注意する。
4. 聞き取りにくいときは必ずもう1度言ってもらえるようにすること。
5. 返事を必ずする。
6. 【的場】のトランシーバーは常にONにして、最大音量に。【進行】のトランシーバーも常にONしておく。

## &lt;その他の注意点&gt;

- ・準備の時に、木札の中心が的の中心となるように設置する。【射場】
- ・タイマーはカウントアップして使う。【射場】【進行】
- ・緊急時にはトランシーバーは使わずに、地声で指示を出す。【進行】
- ・競射を止める際などは、必ず安全かどうかをダブルチェックする。【進行】【記録】【的場】
- ・的中表示の箱は真横に置く。【的場】
- ・審判的を出す場合、大きい的は上に、小さい的は下に出す様にする。【的場】
- ・上の際、的を看的小屋から出しすぎないで、手自体は看的小屋から出さないようにする。【的場】